

別記第2号様式

平成16年度中間評価調査書

機関名 アイヌ民族文化研究センター

整理番号	3	研究課題名	十勝地方のアイヌ語の調査研究（文法・助詞）			
事業区分	重点領域・一般試験等 一般試験	研究区分	研究	試験	調査	分析
共同研究機関 （協力機関）						各種施策等との関連性 第3次北海道長期総合計画 大項目：だれもが安心して暮らせる住みよい社会を形成する 中項目：アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重され地位の向上が図られる社会の実現 目 標：アイヌ文化の保存振興とアイヌの人たちに対する理解の促進
研究期間及び 所要見込額（千円）	14年度～20年度	前年度以前	当年度	翌年度以降	全体所要額	
		693 (693)	293 (293)	353 (353)	1.339 (一財 1.339)	
研究の概要						
○ 研究背景 ・日常的にアイヌ語を伝承することが困難である現在では、アイヌ語を調査し基礎資料を整備することは、アイヌ語の保存、伝承のために不可欠である。 これまでのアイヌ語研究は主に一部の地域を中心に進められてきたが、十勝地方のアイヌ語については、研究資料も研究成果も少ない。また、アイヌ語話者は、かなりの高齢であり、年々少なくなっていることから基礎資料の整備及び蓄積は、緊急課題の一つとなっている。これまでに日常会話の中で用いられている基本的な単語については、調査、分析をすすめている（「十勝地方のアイヌ語の調査研究（基礎語彙）」平成7～17年度）ところである。また、十勝地方のアイヌ語の文法については一部の先行研究があるが、全般的な研究は、今後の課題である。 ○ 研究目的 ・本研究では、文法研究の一環として、先にすすめている語彙調査の際に得た疑問、仮説に基づき助詞を研究テーマにとりあげ、十勝地方の助詞の特徴や機能、語の意味について調査研究を行い、十勝地方のアイヌ語文法研究の基礎資料を作成する 助詞の研究については先行研究があるが、不十分であり、既にセンターが採録した一部の資料と比較してみると十分に解明できない疑問点が多くある。アイヌ語の助詞は多種多様であり、地域による差があると考えられることから、さらなる詳細な研究が必要である。 ○ 研究内容 ・これまでにセンターが採録した十勝地方のアイヌ語音声資料と今後採録する音声資料を分析し整理する。また、他機関が所蔵している十勝地方のアイヌ語音声資料や文書資料の分析と整理を行い、それらと比較対照し研究をすすめる ○ 年次別目標 平成14～15年度 採録資料の整理 平成16～17年度 採録調査と資料の分析 平成18～19年度 先行研究との比較対照及び他機関資料の整理と分析 平成20年度 資料のまとめ ○ 研究計画の適切性 ・当該地域の採録資料から用例を大量に抽出し整理する時間を要することが予測されるので、計画期間や経費は妥当である。						
						直近の研究課題評価結果 平成14年度 事前評価 【自己評価】 A・B・C 【総合評価】 A・B・C
研究の進捗状況						
○ 研究計画に照らした進捗状況・目標達成度など ・平成14～15年度 採録資料の整理を進めてきた。 ○ 年次別実績 ・平成14～15年度 採録資料の整理						
						進捗度・目標達成度 a・b・c
今後の見通し						
○ 研究開始後の事情変更の有無 ・当初、研究期間を平成18年度までとしていたが、採録資料の整理に時間を要したため、平成20年度まで延長した。 ○ 研究手法・資源配分の見直しの必要性 ・なし ○ 期待される成果とその実現可能性、成果の有益性・活用可能性 ・本研究により、研究資料が乏しい十勝地域のアイヌ語の基礎データが明らかになることから、その成果はアイヌ語学習等での活用が期待できる。また、他地方のアイヌ語研究にも大きく寄与することが期待される。						
						期間の妥当性 a・b・c
						経費の妥当性 a・b・c
						実現の可能性 a・b・c
						活用の可能性 a・b・c
【自己評価】 A・B・C	【説明】 言語に関する調査研究は、民族の文化を理解する上で基礎となる重要なものである。話者の高齢化を考えると、資料の確認（採録を含む。）や整理、分析作業を優先的に、引き続き進める必要がある。					
【総合評価】 A・B・C	【意見】 整理作業に時間を要しているが、研究資料の乏しい十勝地域のアイヌ語の基礎データが明らかになる研究課題であることから、引き続き取り組む必要がある。					

(A) 今後十分な研究成果が期待でき、優先的に取り組む必要がある
(B) 今後一定の研究成果が期待でき、継続して取り組む必要がある
(C) 今後の見通し等に問題があり、中止を含めた抜本的な見直しが必要である

(a) 極めて高い、適切である
(b) 高い、概ね適切である
(c) 低い、改善の余地がある